

経カテーテル治療患者において職種間の ADL 評価の差が予後に与える影響を検討

1. 研究の対象

対象： 経カテーテル的大動脈弁置換術、経皮的僧帽弁形成術を施行される患者

2. 研究目的・方法

近年カテーテル手術である、経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)や経皮的僧帽弁形成術(Mitra Clip)などが高齢者を中心に多く施行されるようになった。しかしながらTAVIやMitra Clipが施行される高齢者の多くは虚弱を併存していることが多く、術後の日常生活動作を低下させない関わりが大切である。

日常生活動作の報告は、心不全患者において多く報告されており早期離床や入院時の活動量増加が重要とされている。活動量の増加を行うには病棟との連携は必須であるが、しばしば日常生活動作評価の差異が生まれることがある。そこで今回この差が退院時の運動時の体力や日常生活動作、予後へ影響を与えるか検討を行う。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテから得られる情報、病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等。

4. 外部への試料・情報の提供

データは、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

心臓病センター榊原病院

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて病客さまもしくは病客さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先まで 2024 年 12 月 31 日までにお申出ください。その場合でもその後の診療など病院サービスについて病客さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

心臓病センター榊原病院

住所：岡山市北区中井町 2-5-1

電話：086-225-7111

担当者： リハビリテーション室 内藤喜隆

研究責任者： 循環器内科 吉田俊伸